

千葉大学医学部附属病院にてメルケル細胞癌で
受診された方へ

2025年12月2日

皮膚科

メルケル細胞癌は高齢者の日光にあたりやすい部位(顔や頭)に好発する稀な皮膚癌で、赤いしこりやピンク色でわずかに皮膚盛り上がった状態など様々な外観を示します。急速な増大や早期からリンパ節転移を示す場合があるため早期発見が重要です。実際には色素を持たない(赤いだけの)悪性黒色腫や他の皮膚癌などとの鑑別が難しく、生検をしないと診断がつかない場合も少なくありません。一般的に皮膚腫瘍の術前診断に有効な、医療用ルーペによる診断(ダーモスコピー)が早期診断に有用ではないかと予想されますが、未だ海外を含めてダーモスコピー所見の有用性を論じた報告が乏しい状況です。したがって、当科ではメルケル細胞癌で受診された方の腫瘍の外観とダーモスコピー所見とを照合して調べる研究を行うことにしました。

つきましては以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報をを利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2005年4月1日～2025年5月31日までに当院皮膚科を受診されたメルケル細胞癌の診断を受けた方

1. 研究課題名

「臨床像に基づくメルケル細胞癌のダーモスコピー所見の解析」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当科を受診したメルケル細胞癌の臨床情報（下記）を収集します。臨床画像をもとに、メルケル細胞癌の4つの臨床型に分類し、各々のダーモスコピーソ見を解析することで、メルケル細胞癌ならびに各臨床型における特徴的なダーモスコピーソ見は何かを調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、病歴、臨床情報、皮膚科で保存している腫瘍の臨床写真およびダーモスコピーアイデア

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：皮膚科（講師）外川八英

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからぬように加工して、千葉大学医学部附属病院皮膚科の鍵のかかる保管庫で厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

ご希望があれば、本研究について他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 皮膚科

講師 外川八英

連絡先：〔TEL〕 043-222-2505

〔FAX〕 043-222-2128